

## 国際的な低栄養診断基準～GLIM基準～

2018年に世界の主要な臨床栄養学会が協力し、成人の低栄養診断としてGLIM基準が発表されました。当院でもGLIM基準で低栄養診断を行っています。今回はGLIM基準による低栄養診断についてです。皆さんも低栄養診断にTryしてください！

## ステップ1: 栄養スクリーニング

- ・全ての対象患者に対して栄養スクリーニングを実施、栄養リスクのある患者を抽出
- ・検証済みのスクリーニングツールを使用(当院ではMNA-SFを使用)

低栄養リスクあり

スクリーニングは、医師・看護師・栄養士・薬剤師、誰でも行えるよ。



## ステップ2: 低栄養診断

表現型基準(フェノタイプ基準)			病因型基準(エイオロジー基準)		
意図しない 体重減少	低BMI (kg/m <sup>2</sup> )	筋肉量減少	食事摂取量減少/ 消化吸収能低下	疾患による負荷/ 炎症の関与	
<input type="checkbox"/> >5%; 過去6か月以内  <input type="checkbox"/> >10%; 過去6か月以上	<input type="checkbox"/> <18.5; 70歳未満  <input type="checkbox"/> <20; 70歳以上	下腿周囲長 ・急性期病棟 <sup>1)</sup> <input type="checkbox"/> 男性 ≤ 30.0cm <input type="checkbox"/> 女性 ≤ 29.0cm ・回復期病棟 <sup>2)</sup> <input type="checkbox"/> 男性 ≤ 33.0cm <input type="checkbox"/> 女性 ≤ 32.0cm	<input type="checkbox"/> 食事摂取量 ≤ 50% (エネルギー必要量の) ;1週間以上 <input type="checkbox"/> 食事摂取量の低下 ;2週間以上持続  <input type="checkbox"/> 食物の消化吸収障害 ;慢性的な消化器症状	<input type="checkbox"/> 急性炎症や 外傷による炎症  <input type="checkbox"/> 慢性疾患による炎症	
上記3項目の1つ以上に該当			and	上記2項目の1つ以上に該当	

低栄養と診断

\* グレーの欄(下腿周囲長)はGLIMの原著で、日本人のカットオフ値が定められていない項目

## ステップ3: 重症度判定

表現型基準の3項目で、より高度な基準値(下記項目)に該当するものが一つでもある場合は重度低栄養と判定、一つも該当しない場合は中等度低栄養と判定

	体重減少	低BMI(kg/m <sup>2</sup> ) <sup>3)</sup>	筋肉量減少 下腿周囲長 <sup>1)</sup>
重度低栄養と診断 される項目	<input type="checkbox"/> >10%; 過去6か月以内 <input type="checkbox"/> >20%; 過去6か月以上	<input type="checkbox"/> <17.0; 70歳未満 <input type="checkbox"/> <17.8; 70歳以上	<input type="checkbox"/> 男性 ≤ 27.0cm <input type="checkbox"/> 女性 ≤ 26.0cm



BMIと筋肉量の日本人の重症度診断のカットオフ値が明らかになっていないため、各施設で実状に応じて設定する必要があります。

日本栄養治療学会 GLIMワーキンググループ (2024.10.10 改訂版)

1) Mori N, et al. Clin Nutr 42:166-172, 2023

2) Nishioka S, et al. Nutrition 82: 111028, 2021

3) Maeda K, et al. Clinical Nutrition 39:180-184, 2020

【編集後記】GLIM基準は世界統一の低栄養診断ツールです。当院でも入院患者を中心に問診を行いながらGLIM基準による低栄養診断を行っています。入院栄養計画書にも記載されているので確認してください。  
NST委員会 伊藤(栄養管理室), 三松(外科)